

報道関係者各位

中央労働災害防止協会
一般財団法人 日本規格協会

2017年5月23日

労働安全衛生のISO規格化を見据えて 中災防と日本規格協会が労働安全衛生 マネジメントシステム分野で連携

中央労働災害防止協会（中災防、理事長：八牧暢行）と一般財団法人 日本規格協会（JSA、理事長：揖斐敏夫）は、国際会議で検討が進められている労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）のISO規格化を見据えて、OSHMS分野において包括的に連携・協力していくことで合意し、このほど確認文書に調印しました。

中災防は、OSHMSのISO規格「ISO45001」作成のための会議に日本代表エキスパートとして参加しています。また、ISO45001の翻訳版（JIS規格）の発行に向けた作業にも、原案作成団体として参画しており、今後はモデル認証機関として日本におけるOSHMS認証の普及を目指すことにしています。

JSAは、総合的標準化機関としてJIS（日本工業規格）やISO/IEC規格の開発から普及まで幅広い活動を行っています。ISO45001については、ISOマネジメントシステム認証での実績を活かしたトータルソリューションを提供することにより、適切なOSHMSの普及・定着を目指すことにしています。

両者は今回の協力関係締結を機に、OSHMSに関する国際規格、国内規格の適切な開発において協力していくほか、企業向けの説明会や書籍の出版等でも協力する予定です。

（裏面へ続く）

中災防の八牧理事長とJSAの揖斐理事長は「今回の連携は、労働安全衛生の専門機関である中災防と、総合的標準化機関であるJSAがお互いに補完し合うことにより、OSHMSを効果的に普及し、労働安全衛生の側面から積極的に貢献できるものになると期待している」としています。

なお、ISO45001 発行に関する主な進捗(2017年5月22日時点)は、以下のとおりです。

- ・2017年3月末 国際規格原案の修正案(DIS2)の各国への回付
- ・2017年5月19日~7月13日 各国投票
- ・2017年9月 上記投票による承認を経て、マレーシアでの会議(ISO/PC283)開催
DIS2に対する各国からのコメントが少なく、DIS2コメントのレビューが9月の会議で完了し、かつ、ISO/PC283が最終国際規格案(FDIS)の段階をスキップできる場合は、2017年11月ごろ発行の見込み
FDIS段階が必要と決定された場合、又は、コメント数が多くその処理に追加会議が必要な場合は、早くても2018年3月ごろ発行の見込み



写真：
調印式(5月15日)後に握手する八牧中災防理事長(左)
と揖斐JSA理事長

画像データは以下にアクセスしてください。
(画像の使用は、メディア掲載用のみにてお願いいたします)
<http://www.jisha.or.jp/media/download.html>

この資料は、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブ、経済産業記者会、鉄鋼研究会に配布しています。

【照会先】

中央労働災害防止協会(中災防)

総務部広報課長 高橋 まゆみ

電話：03(3452)6542 / FAX：03(3453)8034

E-mail：koho@jisha.or.jp

一般財団法人 日本規格協会(JSA)

マーケティングユニット 広報室長 福永 敬一

電話：03(4231)8503 / FAX：03(4231)8650

E-mail：po@jsa.or.jp